

# 令和元年度学校関係者評価報告書

阪南大学高等学校

令和元年度の学校自己評価に基づき、学校関係者評価委員の方より評価及び提言をいただきましたのでご報告いたします。

学校関係者評価委員については、同窓会会長・PTA 会長・卒業生代表・学園評議員・高校事務長の 5 名の方で構成されています。

## 学校関係者評価委員からの評価と提言

### ① 学習指導・進路指導

○ICT 教育について、昨年に引き続き高い評価を得ており、今後も積極的に研修会等を行い、より充実した授業を展開していくべきである。

○家庭学習について、学習時間を増やすことで満足するとは限らない。生徒個々によって捉え方が違うので、コースごとの評価や質問内容を検討した方が良いとの意見があった。

### ② 生徒指導・人権指導・保健指導

○昨年度より評価が高くなったが、まだまだ低いので改善が必要である。

○生徒の心の健康相談について、教職員が生徒の様子や変化を見極めることが重要である。教職員のスキルアップのための研修会などを積極的に実施する必要がある。

また、今後もカウンセラーの必要性を検討していただきたいと意見があった。

### ③ 行事・クラブ活動

○クラブの新設など生徒のニーズに対応した改革により、高い評価を得ている。

○熱心に指導しているクラブが多く、高校生活の充実に繋がっている。また、クラブ活動の施設設備も充実しており、生徒・保護者の評価は高い。

### ④ 学校運営・施設

○体育施設の空調設備を新設するなど、生徒の安全に配慮した整備が施されている。美観、衛生に関しても、昨年同様に高い評価を得ている。

○情報発信について、アプリケーションを導入し学校全体、学年、クラブ等でうまく活用されている。登録・普及については引き続き促進する必要がある。